

第3章の補遺 三角形の面積

定理 3.補遺.1 座標空間において、点 A と B と C とに対してベクトル $\mathbf{a} = \overrightarrow{CA}$ と $\mathbf{b} = \overrightarrow{CB}$ とを考えると、三角形 ABC の面積は $\frac{1}{2}\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}$ である。

証明 点 A と B と C とに対して、ベクトル $\mathbf{a} = \overrightarrow{CA}$ と $\mathbf{b} = \overrightarrow{CB}$ とを考え、角 ACB の劣角を θ とおく。三角形 ABC の面積は

$$\frac{1}{2}\overline{CACB} \sin \angle ACB = \frac{1}{2}|\mathbf{a}||\mathbf{b}| \sin \theta .$$

ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とが成す角度が θ なので、

$$\cos \theta = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{a}||\mathbf{b}|} ,$$

$$(\sin \theta)^2 = 1 - (\cos \theta)^2 = 1 - \left(\frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{a}||\mathbf{b}|} \right)^2 = 1 - \frac{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2} ,$$

角度 θ は三角形の内角の大きさなので $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$, よって $\sin \theta \geq 0$ なので、

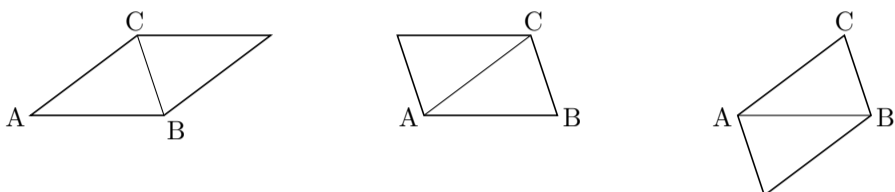
$$\sin \theta = \sqrt{(\sin \theta)^2} = \sqrt{1 - \frac{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2}} .$$

三角形 ABC の面積は

$$\begin{aligned} \frac{1}{2}|\mathbf{a}||\mathbf{b}| \sin \theta &= \frac{1}{2}|\mathbf{a}||\mathbf{b}| \sqrt{1 - \frac{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2}} = \frac{1}{2}\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 \left(1 - \frac{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2} \right)} \\ &= \frac{1}{2}\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2} . \end{aligned}$$

(証明終り)

平面の点 A と B と C とに対して、A と B と C が頂点である平行四辺形は例えば以下のように3通り考えられます。



いずれの平行四辺形もその面積は三角形 ABC の面積の2倍です。このことより次の定理が成り立ちます。

定理 3.補遺.2 座標空間において、点 A と B と C とに対してベクトル $\mathbf{a} = \overrightarrow{CA}$ と $\mathbf{b} = \overrightarrow{CB}$ とを考えると、A と B と C が頂点である平行四辺形の面積は $\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}$ である。

定理 3.補遺.3 座標平面 \mathbf{R}^2 の点 A と B と C とについて、 $\overrightarrow{CA} = (a_1, a_2)$ かつ $\overrightarrow{CB} = (b_1, b_2)$ である実数 a_1, a_2, b_1, b_2 に対して、三角形 ABC の面積は $\frac{1}{2}|a_1b_2 - a_2b_1|$ であり、A と B と C を頂点とする平行四辺形の面積は $|a_1b_2 - a_2b_1|$ である。

証明 ベクトル $\mathbf{a} = \overrightarrow{CA}$ と $\mathbf{b} = \overrightarrow{CB}$ とを考える。定理 3.8.1 より、三角形 ABC の面積は $\frac{1}{2}\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}$ である。定理 3.8.2 より、A と B と C が頂点である平行四辺形の面積は $\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}$ である。 $\overrightarrow{CA} = (a_1, a_2)$ かつ $\overrightarrow{CB} = (b_1, b_2)$ である実数 a_1, a_2, b_1, b_2 に対して、 $\mathbf{a} = (a_1, a_2)$ かつ $\mathbf{b} = (b_1, b_2)$ なので、

$$\begin{aligned} |\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2 &= |(a_1, a_2)|^2|(b_1, b_2)|^2 - \{(a_1, a_2) \cdot (b_1, b_2)\}^2 \\ &= (a_1^2 + a_2^2)(b_1^2 + b_2^2) - (a_1b_1 + a_2b_2)^2 \\ &= a_1^2b_1^2 + a_1^2b_2^2 + a_2^2b_1^2 + a_2^2b_2^2 - (a_1^2b_1^2 + 2a_1b_1a_2b_2 + a_2^2b_2^2) \\ &= (a_1b_2)^2 + (a_2b_1)^2 - 2a_1b_2a_2b_1 \\ &= (a_1b_2 - a_2b_1)^2 . \end{aligned}$$

三角形 ABC の面積は

$$\frac{1}{2}\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2} = \frac{1}{2}\sqrt{(a_1b_2 - a_2b_1)^2} = \frac{1}{2}|a_1b_2 - a_2b_1| .$$

A と B と C が頂点である平行四辺形の面積は

$$\sqrt{|\mathbf{a}|^2|\mathbf{b}|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2} = \sqrt{(a_1b_2 - a_2b_1)^2} = |a_1b_2 - a_2b_1| .$$

(証明終り)

例題 座標平面の点 A = (5, 9) と B = (1, 2) と C = (6, 8) とを頂点とする三角形 ABC の面積を求める。

ベクトルの始点を B にすると僅かながら計算が簡単であろう。

$$\begin{aligned} \overrightarrow{BA} &= (5, 9) - (1, 2) = (4, 7) , \\ \overrightarrow{BC} &= (6, 8) - (1, 2) = (5, 6) . \end{aligned}$$

三角形 ABC の面積は

$$\frac{1}{2}|4 \cdot 6 - 7 \cdot 5| = \frac{1}{2}|24 - 35| = \frac{1}{2}|-11| = \frac{11}{2} .$$

ベクトルの始点を A にすると、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} &= (1, 2) - (5, 9) = (-4, -7) , \\ \overrightarrow{AC} &= (6, 8) - (5, 9) = (1, -1) ; \end{aligned}$$

三角形 ABC の面積は

$$\frac{1}{2}|(-4) \cdot (-1) - 1 \cdot (-7)| = \frac{1}{2}|4 + 7| = \frac{1}{2}|-11| = \frac{11}{2} . \quad \square$$

問題 3.補遺.1 座標平面の点 A = (2, 9) と B = (5, 2) と C = (8, 4) とを頂点とする三角形 ABC の面積を求めなさい。

例題 座標平面の点 A = (7, 5) と B = (2, 1) と C = (8, 4) とを頂点とする四角形 ABCD は平行四辺形であるとする。この平行四辺形の面積を求める。

ベクトルの始点を C にすると僅かながら計算が簡単であろう。

$$\overrightarrow{CA} = (7, 5) - (2, 1) = (5, 4) , \quad \overrightarrow{CD} = (8, 4) - (2, 1) = (6, 3) .$$

平行四辺形 ABCD の面積は

$$|5 \cdot 3 - 4 \cdot 6| = |15 - 24| = |-9| = 9 . \quad \square$$

問題 3.補遺.2 座標平面の点 A と B = (9, 4) と C = (1, -3) と D = (7, -5) を頂点とする四角形 ABCD は平行四辺形であるとして、この平行四辺形の面積を求めなさい。